

平成30年度

事業報告

社会福祉法人 札幌市北区社会福祉協議会

平成30年度 事業報告

1 地域福祉活動の推進

(1) 地区社会福祉協議会への支援

- ① 地区社会福祉協議会事業費の助成（11地区）
- ② 赤い羽根共同募金地域福祉推進事業費の助成（11地区）

(単位：円)

地区名	地区社協活動費助成	共同募金助成金	合計
鉄西	81,000	80,000	161,000
幌北	176,000	80,000	256,000
北	188,000	80,000	268,000
新川	162,000	85,000	247,000
新琴似	237,000	80,000	317,000
新琴似西	117,000	85,000	202,000
屯田	201,000	80,000	281,000
麻生	152,000	80,000	232,000
太平百合が原	105,000	80,000	185,000
拓北・あいの里	174,000	80,000	254,000
篠路	174,000	80,000	254,000
合計	1,767,000	890,000	2,657,000

※地区社協基盤整備費は前年度と同額

③ 地区社会福祉協議会への活動支援・助言

新琴似地区における地区福祉のまち推進センター事務室開設に向けた動きに関して、相談に対する助言等の支援を行った。

(2) 福祉のまち推進事業の推進

①地区福祉のまち推進センター活動の充実に向けた支援

ア 地区福祉のまち推進センター活動費助成（11地区）

（単位：円）

地区名	鉄西	幌北	北	新川	新琴似	新琴似西
基本活動費	215,000	280,000	290,000	250,000	310,000	260,000
事業加算費	150,000	330,000	360,000	360,000	230,000	340,000
合計	365,000	610,000	650,000	610,000	540,000	600,000

地区名	屯田	麻生	太平 百合が原	拓北・ あいの里	篠路	合計
基本活動費	280,000	270,000	250,000	270,000	275,000	2,950,000
事業加算費	290,000	180,000	340,000	400,000	215,000	3,195,000
合計	570,000	450,000	590,000	670,000	490,000	6,145,000

イ 地区福祉のまち推進センター拠点施設整備費の助成（2地区）

新琴似西地区における事務室借り上げ料として、年額 483,600 円助成。

新琴似地区における事務室借り上げ料として、年額 360,000 円助成。

ウ 地区福祉のまち推進センター備品整備費（1地区）

新琴似地区における事務室開設にかかる備品整備費として、499,446 円助成。

エ 見守り・訪問活動の支援（強化）

1. 札幌市65歳以上世帯名簿の活用支援及び取扱研修の実施

*見守り活動の意義や方法などについての研修も併せて実施

地区名	実施日	実施町内会等	参加人数	備考
鉄西	6/22	鉄西地区福祉のまち推進センター	40名	
幌北	4/9	幌北第7町内会	5名	
	7/20	幌北第4町内会	4名	
	9/26	幌北第3町内会	12名	
北	6/27	北地区福祉のまち推進センター	3名	
	8/6	北地区福祉のまち推進センター	3名	
新琴似	5/28	新琴似地区福祉のまち推進センター	10名	
	6/1	新琴似1番通西第2町内会	11名	
	6/12	新琴似4番通第2町内会	9名	
	7/3	新琴似4番通第2町内会	2名	
	7/8	新琴似3番通中央第2町内会	14名	
	7/13	新琴似地区福祉のまち推進センター	52名	
	7/19	新琴似4番通第2町内会	15名	
	7/22	新琴似3番通中央第2町内会	4名	
	7/22	新琴似6番通東第2町内会	15名	
	8/6	新琴似6番通西第2町内会	4名	
新琴似西	10/13	新琴似1番通り中央町内会	25名	
	5/26	双葉第7町内会	20名	
	6/10	双葉第7町内会	4名	
麻生	7/23	新琴似西地区福祉のまち推進センター	40名	
	6/26	チサン麻生町内会	2名	
太平百合が原	7/2	太平パークタウン福祉部	4名	
	7/10	地区社協・福まち推進センター	16名	

2. 単位町内会訪問等による見守り活動支援

*見守り活動の方法等について助言

地区名	実施日	実施町内会等	参加人数	備考
幌北	4/9	幌北第7町内会	5名	
	7/20	幌北第4町内会	4名	
	12/11	幌北第7町内会	15名	
北	5/14	北第3町内会	8名	災害時
	2/13	北第7町内会	2名	
	2/20	エルム北26条自治会	5名	
	2/21	北第12町内会	5名	
	2/24	南新川町内会	10名	役員会マップ
	2/27	北第3町内会	3名	
	2/27	北第20町内会	8名	役員会マップ
	3/1	北第9町内会	9名	
3/4	北第18町内会	5名		

	3/9	北第1町内会	3名	
	3/13	北第13町内会	10名	マップ
	3/17	北第11町内会	11名	役員会
	3/18	北第8町内会	17名	役員会
新川	8/23	新川東町内会	10名	
新琴似	4/27	新琴似2番通第3町内会	35名	見守りサポ
	6/1	新琴似1番通西第2町内会	11名	
	6/12	新琴似4番通第2町内会町内会	9名	
	7/3	新琴似4番通第2町内会	2名	
	7/8	新琴似3番通中央第2町内会	14名	
	7/22	新琴似6番通東第2町内会	15名	
	8/6	新琴似6番通西第2町内会	4名	
新琴似西	5/26	双葉第7町内福祉の会	20名	総会出席
	12/15	新光町内会	10名	
	12/15	双葉第6町内会	10名	
	2/16	双葉第3町内会	15名	
屯田	8/8	屯田二番通中央町内会	3名	
	8/9	屯田みずほ西公園町内会	2名	
	8/10	屯田西団地四号棟自治会	2名	
	12/16	屯田西公園通り町内会	14名	
麻生	6/26	チサン麻生町内会	2名	
太平百合が原	7/2	パークタウン福祉部	4名	
篠路	6/4	茨戸北町内会	9名	
	6/25	十軒静和町内会	6名	
	6/28	篠路西町内会	8名	

オ 地区社協・福まち事務局会議・運営委員会への出席

月1回（幌北・新琴似西・拓北・あいの里）

2か月に1回（北）

不定期（鉄西・新琴似・新川・麻生・屯田・太平百合が原・篠路）

カ 地区福まち拠点活性化の支援

各地区福祉のまち推進センターに対し、事業や会議の際、拠点を活用した事務局会議などの助言をおこなった。

②区福祉のまち推進事業の実施

地区福まちパワーアップ事業の実施

北地区及び屯田地区を指定し、見守り活動の充実や取り組みの契機となるようワー

クショップを開催。また、単位町内会の福祉部や福祉推進委員会を訪問し、見守り活動の実施支援をおこなった。

1. 北地区

◇第1回ワークショップ

開催日 平成30年10月9日（火） 参加者49名

内 容

(1) 話題提供

「見守り・訪問活動について」

北区社会福祉協議会 担当職員

(2) 活動発表

テーマ：北地区で「見守り・訪問活動」に取り組んでいる町内会による発表

発表者：①北第12町内会 社会福祉部長・女性部長 氣境 美津子 氏

②北第17町内会 総務副部長 堤 智子 氏

(3) グループ懇談

テーマ『自分たちの町内会・自治会の見まもり活動について話し合おう！』

内 容：各グループにおいて、見まもり活動における課題として挙げられたものの中からテーマを一つに絞って話し合った後、発表を実施。

◇第2回ワークショップ

開催日 平成31年3月27日（水） 参加者41名

内 容

(1) 話題提供

テーマ：「単位町内会訪問についての報告」

北区社会福祉協議会 担当職員

(2) 活動発表

北地区で「見守り・訪問活動」に取り組んでいる町内会による発表

南新川町内会 福祉部長 伊藤 静子 氏

(3) グループ懇談

テーマ「福まち活動を推進していく上で必要な‘連携’について話し合おう！」

内 容：各グループにおいてテーマについて話し合った後、発表を実施。

◇単位町内会（福祉部・福祉推進委員会）訪問：12町内会訪問

2. 屯田地区

◇第1回ワークショップ

開催日 平成30年8月25日（土） 参加者100名

内 容

(1) 活動発表

テーマ①：「高齢者とのつながりをもたらしふれあい・いきいきサロン活動」

発表者：みずほ西公園町内会

テーマ②：「お互いを気にかけることで若者も高齢者も共に語り合える街に」
発表者：新川西札幌町内会（新川地区） 福祉の会 塚田 弘 氏

テーマ③：「顔の見える関係で住民と地域がいつまでも元気に」
発表者：太平ひまわり福祉の会（太平百合が原地区）
北王第七町内会 会長 鈴木 誠 氏

(2) グループ懇談

テーマ『高齢者を気にかける「見守り活動」を考える』

進行：屯田社会福祉協議会 福祉のまち推進センター推進本部

高齢者福祉部会 部員（屯田社協理事） 木村 美太郎

内容：テーマに基づき「今行っていること」、「私たちがしたいこと、できること」について、グループに分かれて自由に話し合い発表を実施。

◇第2回ワークショップ

開催日 平成31年3月2日（土） 参加者90名

内容

(1) 報告

テーマ：「屯田地区内の単位町内会・自治会のへの訪問をとおして
～様々な福祉活動の取組みとこれからの活動について～」

報告者：札幌市北区社会福祉協議会 屯田地区担当 滝谷 貴光

(2) 活動発表

テーマ：「みんなで気にかける福祉活動

～お互いさまの気持ちが住みよい地域に～」

発表者：屯田第二町内会

会長 杉本 京子 氏

(3) グループ懇談

テーマ『高齢者を気にかける「見守り活動」をみんなで進めていくために』

進行：屯田社会福祉協議会 福祉のまち推進センター推進本部高齢者福祉部会

内容：テーマに基づき「今行っていること」、「私たちがしたいこと、できること」について、グループに分かれて自由に話し合い発表を実施。

◇屯田地区単位町内会（福祉部・福祉推進委員会）訪問：40町内会訪問

③ 地区福まちおよび単位町内会の見まもり活動等の情報を整備する地区個別支援情報整備事業の充実

各地区福祉のまち推進センターの活動情報整備（組織体制、見守り活動当支援状況、サロンの実施状況など）のほか、単位町内会の活動状況一覧表（見守り活動、地域福祉マップづくり、災害時避難支援活動など）を更新し、地区福まちとともに、活動状況の整備及び更新を適宜行った。

④ 北区地域福祉活動実践セミナーの開催（北区役所との共催）

開催日 平成30年12月12日（水）15時00分～17時00分

参加者220名 札幌サンプラザ2階 金枝の間

内 容

(1) 基調講演

テーマ：「認知症最新情報～地域の気づきと支え合い、早めの対応がもたらす効果～」

講 師：医療法人社団 さっぽろ在宅医療クリニック 院長 西川 就 氏

(2) 事例発表

○地域の見守り活動を推進する際、ちょっとした変化や異変があった時に福祉関係機関と積極的に連携し対応している町内会の発表。

テーマ：「福祉関係機関とつながり高齢者が安心して生活できる地域に」

発表者：新琴似新光町内会（新琴似西地区）副会長・総務部長

（新琴似西地区福祉のまち推進センター事務局長） 貴戸 和彦 氏

(3) 情報交換

○本年9月の北海道胆振東部地震の体験も踏まえ、日頃の見守り活動の重要性、介護や認知症などに関する関係機関とのつながり等について意見交換。

コーディネーター：西川 就 氏

事例発表者：北区第3地域包括支援センター長 島崎 顕生 氏

介護予防センター新川・新琴似西センター長 木本 雅之 氏

⑤ 福まち活動紹介・広報事業の実施及び社協ホームページにおける地区福まち情報の充実
北区福まち事業（福まち活動実践セミナー等）の取組みを広報誌（社協だより）やホームページで紹介。

⑥ 北区地区社協・福まち連絡会議の開催

◇第1回

開催日 平成30年8月24日（金） 参加者33名

- 内 容
- ・福まちティッシュの作成について
 - ・まもりんLEDライトについて
 - ・福まちパワーアップ事業について
 - ・共同募金北区まもりんコラボピンバッジについて
 - ・夏まつり等イベント募金について

- ・生活支援体制整備事業の実施について

情報交換

テーマ：「地区社協・福まちにおける町内会への見守り活動の支援内容や方法について」

◇第2回

開催日 平成31年3月22日（金） 参加者30名

- 内 容
- ・地区福祉のまち推進センター事業助成金について
 - ・2019年度北区福祉のまち推進事業の事業計画（案）について
 - ・北区社協における2018年度強化事業の実施状況について
 - ・北区社協における2018年度新規事業の実施状況について

情報交換

テーマ：「地区社協・福まちにおける町内会への見守り活動の支援内容や方法について」

⑦ 区地域見守りネットワーク推進事業の実施（新規）

開催日 平成31年3月22日（金） 参加者36名

内 容 「民間事業者・公的機関・関係機関の見守り訪問活動取り組み状況について」

（1）各機関・各事業所より取り組み状況の紹介

- ア 有限会社松本新聞店
- イ 生活協同組合コープさっぽろ宅配事業本部札幌西地区
- ウ 札幌北消防署 予防課防火推進係
- エ 札幌北警察署 生活安全部生活安全企画課
- オ 相談室ぽらりす情報交換

（2）意見交換・質疑応答

⑧ 地区福祉のまち推進センター在宅個別支援事業

平成30年6月13日、本会と新琴似西地区福祉のまち推進センターが連携し、双葉第六町内会の福祉の会へゴミ屋敷の対応について調整した。その後、この調整をきっかけとして、当該世帯が町内会に加入。また、災害時においても町内会関係者から安否確認の声かけがされることにつながった。

⑨ 地区社協・福まちコーディネート講座

開催日 平成30年11月19日（月） 参加者65名 北区民センター3階 講義室

内 容

(1) 講義

テーマ：「地区福まちにおけるコーディネート機能の強化について」

講師：北星学園大学 社会福祉学部 福祉臨床学科 准教授 畑 亮輔 氏

⑩ 地域福祉出前講座の実施

平成30年6月27日

北地区福祉のまち推進センター研修会（北地区）で実施（参加者40名）

※日常生活自立支援事業についての講話を実施

⑪ 地域見守りサポーター養成講座の実施

平成31年3月12日（火）、篠路地区社会福祉協議会の地域福祉懇談会終了後に実施。

（参加者50名）

(3) 区ボランティアセンター事業の推進

① ボランティア活動の相談、登録促進

◇個人 62名〔新規登録〕 ※全体登録数 225名(176名)
◇団体 0団体【0名】〔新規登録〕 ※全体登録数56団体【3,919名】
(72団体【3,146名】)

※()内は昨年度の件数

② ボランティア活動の需給調整(活動希望と要請)

区 分	件 数
ボランティア活動希望相談	27(63)
ボランティア活動要請相談	70(53)
・調整成立	21(34)
・他機関紹介、未成立など	35(19)
合 計	97(116)

※()内は昨年度の件数

③ ボランティア関連保険の取扱い

[ボランティア活動保険] ※年間のボランティア活動に関する保険(各プランは保険加入金額により異なる)

Aプラン:2,034名、Bプラン:35名、Cプラン:63名

Dプラン:133名、Eプラン:35名、Fプラン:27名

合 計:2,327名

[行幸用保険] ※行幸開催に関する保険(型は加入形態により異なる)

A型:310件、B型:11件 合計:321件

④ 地区福祉のまち推進センターのボランティア活動情報提供(新規)

地区福祉のまち推進センターの活動者の確保を図る取り組みの一環として、今年度より、各地区福祉のまち推進センターへボランティア募集情報の提供を依頼したが、情報提供はなかった。

⑤ ボランティア活動プログラムの発行および更新

北区内の福祉施設におけるボランティア募集状況を集約し、一覧表を発行した。

[掲載数]75施設・団体 [メニュー数]延208メニュー

⑥ 北区ボランティア情報誌の発行

北区わいわいボランティア Vol. 6～7発行（7月、8月）

北区ボランティアセンターニュース 9月号、12月号、1月号、2月号、3月号

⑦ 北区ボランティア入門講座の開催

地域ボランティア基礎講座

回	参加者	内 容
1	3/15（金）	北区民センター 2階講義室
	8名	講 義 【テーマ】 ボランティアに役立つ聞き方 【講 師】 傾聴ボランティアアクティブ17 代表 濱田 哲央 氏 【テーマ】 北区内のボランティアについて 【講 師】 札幌市北区社会福祉協議会 担当職員
2	3/18（月）	3階区民ホール
	17名	見学・体験 【テーマ】 「車いす体験！ボランティアとして知っておきたいこと」 「高齢者・障がいのある方へのちょっとした介助」 【講 師】 特定非営利活動法人 手と手 代表 浅野目 祥子 氏
3	3/19（火）	北区民センター 3階講義室
	16名	見学・体験 【テーマ】 「施設内見学、ボランティア見学・活動体験」 【講 師】 児童デイサービスコンチェルト 施設長 菊池 洋子 氏

⑧ 福まちボランティア講座の開催（新規）

開催日 平成30年8月24日（月） 参加者59名

内 容（1）講義

テーマ：「高齢者の精神障がいについて」

講 師：医療法人社団 心優会 中江病院

精神保健福祉士 勅使瓦 愛 氏

（2）事例紹介

テーマ：「精神障がいがある方への地域（関係機関や地域住民）の関わりについて」

講 師：①札幌市障がい者相談支援事業所 ぼらりす

所長 俵谷 知実 氏

②札幌市北区第3地域包括支援センター

センター長 島崎 顕生 氏

⑨ ボランティア出前講座の実施

星槎国際高校札幌北学習センターでのボランティア講座

開催日 平成30年9月13日（木） 参加者9名

内 容 始めてみよう！ボランティア活動（講義）

⑩ 北区ボランティア連絡会への活動支援

ア 総会

開催日 平成30年4月10日(火) 参加者38名

内容 ・平成29年度事業報告、決算報告、監査報告
・平成30年度事業計画、予算

イ 研修会

開催日 平成30年4月10日(火) 参加者38名

テーマ 「認知症予防のテクニックについて」

講師 介護予防センター百合が原 相談員 阿部 真理子 氏

ウ 施設見学会

開催日 平成30年9月19日(水) 参加者31名

内容 施設見学・交流

訪問先 社会福祉法人札幌協働福祉会(札幌市北区)
社会福祉法人ゆうゆう(石狩市当別町)

エ 交流会

開催日 平成31年2月15日(金) 参加者78名

内容 ・活動発表(マジックシークレットダイヤモンド様)
・交流会(折り紙、レク、ボランティアカフェ)

オ 札幌市ボランティア連絡協議会への参加協力

[総会・講演会] 4月24日(火) 5名参加

[役員会] 第1回~5月8日(火)、第2回~7月19日(木)

第3回~9月21日(金)、第4回~12月17日(月)

第5回~2月12日(火)、第6回~4月2日(火)

[研修会] 石狩地区ボラネットスキルアップ研修会 7月11日(木) 2名参加

ボランティアリーダー養成研修会 7月19日(木) 2名参加

ボランティアリーダー学習会 2月2日(土) 3名参加

ボランティアセミナー 11月16日(金) 3名参加

ボランティア愛ランド北海道2018 in おたる 10月21日(日) 6名参加

(4) 福祉教育推進事業

① 社会福祉協力校の指定

継続指定校（平成28年度～）として、札幌市立光陽小学校、札幌市立屯田中央中学校を指定。活動費を各校100,000円助成し、福祉教育活動を支援。

② 総合的な学習の授業への実施支援

12月14日、篠路西小学校の4年生（4クラス）の児童に対して、車いす・高齢者疑似・アイマスク体験を実施。

③ 福祉教育研修資材の貸出

◇高齢者疑似体験セット	5件	◇車いす	16件
◇点字機器	1件	◇片マヒ体験セット	4件
◇アイマスク	8件	◇DVDプレイヤー	1件
◇パソコン用プロジェクター	1件	◇スクリーン	0件

(5) ふれあい・いきいきサロン（高齢者、障がい者、子育て）活動に対する支援

① ふれあい・いきいきサロンの登録促進と活動費助成

平成31年3月末時点の総登録数は、95（92）団体（高齢：81（73）、子育て：20（18）、障がい：5（4））※対象は重複あり

※（ ）内は昨年度の件数

② ふれあい・いきいきサロン活動者交流会の開催

開催日 平成31年3月25日（月） 参加者56名

内 容

（1）体 験

ア「～みんなではつらつ！レクリエーション吹き矢」紹介

イ「英字新聞で折ってみよう！すてきなバッグ」紹介

ウ「ハンドマッサージ」紹介

（2）情報交換

サロンカフェ「お茶を飲みながらサロン活動について語り合しましょう」

③ ふれあい・いきいきサロンの活動PRと活動助言・支援

本会ホームページにおいて、登録団体の情報を適時更新した。また、新規相談及び継続相談時に、有効な活動となるよう適時助言も行った。新規登録サロンについては、必

ず訪問し、活動状況の確認を実施した。

④ ふれあい・いきいきサロンの活動グッズの貸し出し

◇レクリエーション吹き矢 1件

⑤ はつらつ・サポーター養成講座の実施

北区各介護予防センターや北区各地域包括支援センター、北区保健福祉課などの関係機関と連携し、北老人福祉センターで10月から12月まで8回講座を実施。

高齢者の介護予防に繋がる活動の場を地域に広げていくボランティア活動として、各講座をとおして、認知症・転倒予防に関する知識や、楽しみながらできる体操・レクリエーション等の技術を学んだ。

◇第1回

開催日 平成30年10月15日(月) 参加者10名

内容

- ・開会式・オリエンテーション・関係機関紹介
- ・ボランティアの意義と内容について(講話)
- ・北区はつらつ体操ストレッチ、自己紹介レクリエーション(実技)
- ・グループワーク(サロンについてのイメージ)

◇第2回

開催日 平成30年10月22日(月) 参加者10名

内容

- ・介護予防、転倒予防について(講話)
- ・北区はつらつ体操ストレッチ、レクネタ帳レクリエーション(実技)
- ・グループワーク(これから活動をしていく上で必要なこと)

◇第3回

開催日 平成30年10月29日(月) 参加者8名

内容

- ・介護予防、転倒予防について(講話)
- ・筋トレの正しいやり方と伝え方(実技)
- ・グループワーク(社会資源やサロンを話し合う)

◇第4回

開催日 平成30年11月5日(月) 参加者8名

内容

- ・レクネタ帳よりレクリエーション(実技)
- ・認知症の方への対応について(講話)
- ・参加者が認知症のとき(ロールプレイ)、感想

◇第5回

開催日 平成30年11月12日(月) 参加者9名

内容

- ・サロン活動発表(昨年度卒業生・活動者3名)
- ・サロン活動発表をとおしてのグループワーク

◇第6回

開催日 平成30年11月19日(月) 参加者8名

- ・サロンの運営方法・助成金等について(講話)
- ・北区はつらつ体操セラバンド(実技)、グループワーク

◇第7回

開催日 平成30年11月26日(月) 参加者9名

- ・模擬サロン開催に向けての役割分・準備(実習)

◇第8回

開催日 平成30年12月3日(月) 参加者8名

- ・「はつらつサロン(模擬サロン)」の開催(実習)
- ・終了式

2 在宅福祉活動等の推進

(1) 住民参加による福祉事業の推進

① 福祉除雪事業の実施

- ・地域協力員募集チラシの作成及び町内会回覧

- ・申し込み件数等

※平成31年3月末現在

地区名	申込件数	実施件数
鉄西	5 (5)	5 (5)
幌北	21 (22)	20 (21)
北	63 (72)	59 (65)
麻生	26 (29)	24 (26)
新琴似	178 (181)	170 (172)
新琴似西	104 (96)	99 (91)
屯田	120 (118)	116 (112)
新川	93 (93)	88 (89)
篠路	147 (134)	138 (128)
拓北あいの里	79 (83)	73 (77)
太平百合が原	65 (54)	59 (52)
合計	901 (887)	853 (838)

※ () 内は昨年度同時期の件数

② 在宅要支援者に対する登録ボランティアの活動調整 (再掲)

③ 日常生活自立支援事業の実施

ア 利用 (希望) 者からの相談、調整、援助

- ・総相談件数 2,358 件

- ・本人状況

認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計
1,490 (2,477)	345 (931)	470 (588)	53 (12)	2,358人 (4,008)

- ・処遇状況

問い合わせ件数	初回相談	相談援助件数	合計
77 (42)	46 (38)	2,235 (3,928)	2,358件 (4,008)

イ 生活支援サービスの実施

・利用者・生活支援員数

〔単位：人〕

認知症 高齢者	知的 障がい者	精神 障がい者	その他	合計	支援員 人数	
16 (16)	6 (3)	3 (3)	0 (0)	25 (22)	20 (26)	・活動中 13(10) ・待機 6(16)

※ 通帳預かり 25名(21名)

④ 札幌市生活支援体制整備事業の実施

ア 生活支援に関する資源の把握

・ 生活支援に関する資源の把握

○スーパーやコンビニ、NPO 法人などが行っている情報を収集

- ・ 第1 地域包括支援センターエリア：2 か所（社会資源一覧を掲載）
- ・ 第2 地域包括支援センターエリア：3 か所（社会資源一覧を掲載）
- ・ 第3 地域包括支援センターエリア：3 か所（社会資源一覧を掲載）

○その他

【第1 エリア】

- ・ ドコモ札幌店（スマホ教室に関する資源把握）12/28

【第2 エリア】

- ・ 篠路チョボラ会有志実施「篠路チョコットお助けたい」活動開始に向けた準備会に定期的に参加（11/9,30,12/21）
- ・ 第2 包括専門職会議にて、包括職員が活用している社会資源情報の共有を依頼。
- ・ 太平百合が原地区施設見学会参加（10/23,12/6）

【第3 エリア】

- ・ 新琴似西地区福まち研修会で、「生活支援」をテーマにした寸劇のシナリオを書き、福まち役員・関係機関で披露し、意識付けを行った。終了後は、生活支援活動を行えるか参加者へのアンケートを実施するなど、人的な社会資源の確認を行った。

・ 「地域の集いの場」使用可能情報提供確認

○高齢者福祉施設や斎場など、集いの場に関する情報提供確認をおこなった。

- ・ 第1 地域包括エリア：5ヶ所訪問
 ※その他、回答が得られなかった施設にも7ヶ所に訪問を実施し、2ヶ所より使用可能に関する回答をいただく。
- ・ 第2 地域包括エリア：11ヶ所訪問

- ・第3地域包括エリア：16か所訪問

イ 生活支援ニーズの把握

安心の確保、家事援助、外出、交流のニーズ調査及び把握を地区ごとに行った。関係団体への聞き取り・調査取りまとめ。

○民生委員・児童委員への聞き取り（生活支援体制整備事業についての研修時等）

- ・第1エリア：北地区（1回）、新琴似地区（1回）
- ・第2エリア：麻生地区（1回）、篠路地区（1回）
- ・第3エリア：屯田（2回）、新川（2回）

○ふれあい・いきいきサロン

- ・第1エリア：訪問回数6回
- ・第2エリア：訪問回数6回
- ・第3エリア：訪問回数6回

○地域包括支援センター

日常的に地域包括支援センターと連絡をとり、ニーズの把握に努めるほか、月に1回、「生活支援・コミュニティソーシャルワーク連携会議」を地域包括支援センターエリアで実施。

また、包括支援センターが関わっている個別ケースの共有や資源開発のための関わり方などを包括地区担当職員と確認。併せて、区社協地区担当職員によるコミュニティソーシャルワーク（個別支援⇔地域支援）展開も確認しながら、法人機関協同による重層的なコミュニティソーシャルワークを行っていく機会としても実施。

- ・第1エリア：新道南（鉄西、幌北、北）～4/24、6/28、7/25、8/23
新琴似地区～6/7、2/18
第1包括専門職会議出席～11/29、12/26、2/20
- ・第2エリア：麻生地区～6/12、太平百合が原地区～4/23、5/24、2/27
拓北・あいの里地区～4/26、5/15、篠路地区：2/20
第2包括専門職会議出席～4/20、5/18、6/14、7/20、8/17、
9/21、12/21、1/18、2/15
- ・第3エリア：新琴似西地区～7/9、新川地区～9/19
第3包括専門職会議出席～10/19、11/21、12/21、
1/22、2/14、3/14

○地区社会福祉協議会（福祉のまち推進センター）

区社協地区担当職員と一緒に、事務局会議や運営委員会、研修会などに出席し、ニーズの把握とともに、地域活動の状況を把握した。

【出席状況】

○第1エリア

・鉄西 計4回

地区社協総会：5/15、地区社協役員会：5/31

福まち見守り会議：6/22、地区社協・福祉の会会長会議：2/8

・幌北 計18回

地区社協総会：4/20、ふれあい交流会11/28

福まち運営委員会：4/5, 5/2, 6/7, 7/5, 8/2, 10/4,
11/1, 12/6, 1/10, 2/7

事務局会議：6/5, 7/30, 9/4, 1/8, 2/5

・北 計7回

地区社協総会：5/16、福まち運営委員会：6/1, 10/9, 12/7,
2/1、福まち研修会：10/9

・新琴似 計22回

地区社協総会：5/24、福まち運営委員会：5/28、福まち打合せ：5/23,
8/24、福まち研修会：7/13, 9/21, 9/28、

福まち事務局会議：12/18, 2/25、福まち事務所訪問：12/4, 11,
13, 18, 20, 25, 27, 1/22, 24, 31, 2/19, 21, 26

計22回

○第2エリア

・麻生地区 計16回

福まち運営委員会：5/28、福まち役員会：7/11、

麻生高齢者等支援委員会 理事会・幹事会、SOSネットワーク訓練等：

4/6, 18, 5/30, 6/25, 7/31, 8/28, 9/5, 21, 29, 10/10, 25, 12/13, 2/14、

麻生ふれあい昼食会：10/5

・太平百合が原地区 計12回

地区社協理事会：4/17, 6/5, 8/6, 10/29, 3/18、地区社協研修会：6/30

福まち運営委員会：4/23, 6/13, 8/22, 11/5, 2/12、

福まち三地区研修会：9/26

・拓北・あいの里地区 計9回

ケア施設町内会：4/17, 6/19, 7/17, 10/16, 12/18、

65歳以上世帯名簿研修：9/19、福まちサロン：7/18, 11/14

見守りボランティア研修：2/24

- ・篠路地区 計5回

地区社協役員会：7/2,10/22,11/22、地区社協理事会：9/28

しのろ福祉のつどい：11/24

○第3エリア

- ・新琴似西地区 計21回

地区福まち事務局会議：6/25、8/6、9/10、10/15、12/3、
2/18、3/25

福まち研修会打ち合わせ：6/25、8/27、10/1、11/12、2/14

福まち研修会：7/23、10/19、11/7、11/12

とくとく教室実行委員会：10/31、12/19、2/28

とくとく教室：12/19、3/8

- ・屯田地区 計3回

地区社協役員会：8/1、福まちパワーアップ事業研修会：8/25、3/2

- ・新川地区 計13回

地区社協総会：5/23

地区社協定例会：4/19、6/13、9/27、3/27

地区社協すこやかフェスタ・打ち合わせ：4/11、6/13、7/9

福まち男の料理教室・打ち合わせ：6/1、7/21、10/11

福まち昔遊び世代間交流の会：8/7、福まち主催カーリンコン大会：10/27

○単位町内会（福祉の会）

区社協地区担当職員と一緒に（状況に応じて地区福まちの活動者も同席）、役員会や研修会などに出席し、ニーズの把握とともに、地域活動の状況を把握した。

【出席状況】

○第1エリア

- ・新琴似（1回）
- ・幌北地区（1回）

○第2エリア

- ・篠路地区（5回）
- ・拓北・あいの里地区（3回）

○第3エリア

- ・新川（2回）
- ・屯田（1回）

○その他

北区各介護予防センターや北区福祉・介護関係機関（調査センター、ヘルパーセンター、相談センターなど）、関係団体（ケアマネ連協北区支部など）などから、事業参加や会議出席などの際にニーズを把握する。

【把握状況】

○各地区地域ケア会議・個別地域ケア会議への出席

- ・拓北・あいの里地区：平成30年8月26日
- ・篠路地区：平成30年10月16日
- ・太平百合が原地区：平成30年10月1日
- ・幌北地区：平成30年11月26日
- ・北地区：平成30年11月27日

ウ 社会資源の開発（支えあい体制の構築）

対象エリアを選定し、支えあいの組織作り・運営に関する事項の支援を行った。

○生活支援ボランティアグループへの支援

- ・屯田地区住民を対象にした「生活支援ボランティア養成講座」開催後のグループ化に向けた支援を行い、「屯田♡支えあい」が発足した。現在も自主運営化に向けて継続支援中。
- ・平成28年度に生活支援活動セミナーに参加した方々による「生活支援ボランティアの集い」において、当初は情報交換のみだったが、メンバーからボランティアグループとして活動したいとの意向があったため、平成29年度から継続的にグループ化に向けた支援をおこなった。

○第1層の対象エリアにおける第1層CNとの合同業務

太平百合が原地区

- ・太平百合が原地区のボランティア組織に関する再検討の機会として、同地区社協理事会等に出席し業務説明や運営支援を行った。

[理事会] 4月17日,6月5日,8月6日

[サポートたいゆり事前打合せ] 7月26日(2層のみ)

[サポートたいゆり全体会議・研修会] 8月29日

[サポートたいゆり事務局運営ボランティアコーディネート研修] 10月25日

新琴似西地区

- ・地区福祉のまち推進センターの研修会や事務局会議等で、福まち活動における見守り活動のほか、軽易な日常生活支援ボランティアについても考える機会になるよう、説明や活動助言などをおこなった。

○老人クラブへの関わり

老人クラブへの生活支援活動に関するアンケートの中で、老人クラブの例会等で生活支援体制整備事業の説明行ってよいか確認する項目があり、アンケートの返送があったクラブでその項目がチェックされている場合、当該クラブの会長へ連絡をして、説明のため出席が可能な場合、説明と合わせて事業を啓発し資源開発の機会とした。

【説明日】

○第1エリア：5月21日（新琴似ことぶきクラブ）

○第2エリア：未実施

○第3エリア：3月27日（新川公園むつみ会）

○その他地区社協・福まち・単位町内会への関わり

福まち活動の一環（軽易な日常生活支援）としての支援を実施する際、区社協地区担当職員と一緒に関わり、活動の体制を築いた。

【支援日】

○第1エリア

・鉄西

地区社協役員会：5/31、福まち見守り会議：6/22

・幌北

事務局会議：6/5、9/4

・新琴似

福まち打合せ：5/23、8/24

福まち研修会：7/13、9/21、9/28

○第2エリア：特になし

○第3エリア

・福まち研修会では、「生活支援」をテーマとした寸劇のシナリオを書き、福まち活動者等と一緒に町内会活動者等へ寸劇を披露。その後のグループワーク、アンケート等で、生活支援について周知・啓発をおこなった。

エ 生活支援ニーズと担い手との調整

○第1エリア：近くに会場を探していた町内会サロンと、地域のつどいの場のアンケート調査で使用可能と回答のあった会場とのマッチング

- 第2エリア：パーク♡サロン買い物支援ニーズと社会福祉施設とのマッチング [太平百合が原地区]
高齢者福祉施設と町内介護予防実施（体操教室）のマッチング [拓北・あいの里地区]
- 第3エリア：屯田地区生活支援ボランティアグループ「屯田♡支えあい」が定例会を行う場所を探しており、「地域の集いの場提供可能場所」の1つである軽費老人ホームに依頼し、グループの定例会を施設1階ホールで実施中 [屯田地区]
協議体で出たテーマ、新光小学校、「心豊かな新光の子を育てる会」が主催する「百人一首の会」に、審判や札読みなどのお手伝いとして、新琴似西地区在住の高齢の方が参加する取り組みを実施 [新川地区]

オ 協議体（生活支援推進連絡会）の設置・運営

○ 区協議体（第1層）

◇第1回

開催日 平成30年7月12日（木） 参加者22名

場 所 北区役所 2階 第1会議室

内 容 ○報告事項

- ・平成29年度第1層及び第2層生活支援コーディネーターの取り組み報告
- ・平成29年度生活支援ニーズの調査結果について
- ・平成29年度地域資源の把握状況について
- ・平成30年度札幌市生活支援体制整備事業第1層・第2層運営業務（北区）実施方針

○意見交換

- ・「生活支援サービス等の創出（資源の開発）や担い手養成に係る意見交換」

◇第2回

開催日 平成31年3月8日（金） 参加者22名

場 所 北区役所 2階 第1会議室

内 容 ○報告事項

- ・平成30年度第1層及び第2層生活支援コーディネーターの取り組み報告
- ・第1回生活支援推進連絡会の意見交換ででていた意見への対

応状況

- ・関係機関・団体の意見交換

○意見交換

- ・「平成31年度札幌市生活支援体制整備事業第1層・第2層運営業務（北区）実施方針（案）の説明及び意見交換」

○ 地域包括支援センターエリアの協議体（第2層）

◇幌北地区（第1地域包括支援センターエリア）

○第1回小連絡会「高齢者の身近にあるつどいの場の確保」

開催日 平成30年8月28日 参加者25名

場 所 幌北会館

- 内 容
- ・「高齢者の身近にあるつどいの場の確保」に関する活動報告
 - ・「幌北地区で必要とされているつどいの場所」「つどいの具体的な内容」「既存のつどいの場や場所の活用」についての意見交換

○第2回小連絡会「学生の地域行事への参加や無理のないボランティア活動」

開催日 平成30年10月22日 参加者26名

場 所 幌北会館

- 内 容
- ・「学生の地域行事への参加や無理のないボランティア活動」に関する活動報告他、「地域から考える学生に参加して欲しい地域行事やサロン、お願いしたいボランティア活動」、「学生側から考える、参加できそうな・参加してみたい地域行事や可能なボランティア活動」についての意見交換

◇篠路地区（第2地域包括支援センターエリア）

○第1回小連絡会

開催日 平成30年7月20日（金） 参加者19名

場 所 軽費老人ホーム 茨戸ライラックハイツ

- 内 容
- ・テーマ「社会福祉法人で行っているスーパーの訪問売店の地域開放」
 - ・活動報告「茨戸ライラックハイツによる訪問売店地域開放に関わる生活支援コーディネーターの活動について」
「茨戸ライラックハイツによる訪問売店地域開放の実施内容について」

- ・意見交換「東茨戸北町内会・茨戸中央町内会エリアにおける
買い物支援ニーズについて」

「訪問売店の地域開放における効果的な実施について」

○第2回小連絡会

開催日 平成31年3月19日（火） 参加者19名

場 所 軽費老人ホーム 茨戸ライラックハイツ

内 容 ・活動報告「茨戸ライラックハイツによる訪問売店地域開放の
今後の方向性について」

- ・意見交換「東茨戸北町内会・茨戸中央町内会エリアにおける
生活支援活動について」

- ・事例紹介「他地区における生活支援ニーズに対応した新たな
支え合い活動について」

◇新琴似西地区（第3地域包括支援センターエリア）

○第1回

開催日 平成30年10月18日（金） 参加者17名

場 所 三和福社会館

内 容 「平成29年度の生活支援推進連絡会でいただいた意見（テーマ）の確
認と各テーマの具体的取組みに向けた小連絡会の進め方の確認」

- ・小学校を中心とした高齢者と小学生との交流（ゲストティーチャーなど）
- ・店舗が近くになく、バス路線もない方への買い物支援
- ・高齢者（日中独居など）の地域における社会参加

○第2回

開催日 平成31年3月13日（水） 参加者17名

場 所 三和福社会館

内 容 「平成29度 新琴似西地区生活支援推進連絡会」でご出席者いただ
いた方の意見を参考に、これから取り組んでいくテーマの1つとして「店
舗が近くになく、バス路線もない方への買い物支援」を挙げた。

今後は、株式会社ツクイに車両や運転手提供のご協力いただき、マイ
クロバスを利用して、地域のボランティアと一緒にスーパーに買い物に
行く「買い物バスツアー」を、来年度に施行運行する方向で取り組んで
いくことになった。

カ 関係者間のネットワークの構築

○ 北区連絡会議

地域包括支援センターや介護予防センター、北区保健福祉課保健支援係、区社協との会議で適時活動報告をした（主に第1層コーディネーターが毎月の会議に出席）。

○ 地区連絡会議

地域包括支援センターや介護予防センター、北区保健福祉課保健支援係、区社協などの職員による毎月の会議に、第2層コーディネーターがオブザーバーとして参加。ネットワークの構築と併せて生活支援ニーズの把握に努めた。

○ 北区連携運営会議

北区第1・2・3地域包括、介護予防センター新道南などが参加する法人会議において、事業報告や協力依頼を実施することで、ネットワークを構築した（第1層・第2層コーディネーターが毎月の会議に出席）。

キ 区民向け生活支援フォーラムの開催

平成30年12月12日実施。参加者は230名。

○基調講演：「ますます広がる生活支援活動～札幌市・全国の取り組み状況から～」
講師～札幌市社会福祉協議会 地域福祉課長 柏 浩文 氏

○事例発表：「身近な地域で支え合う福祉のまちづくり～太平百合が原地区社会福祉協議会「サポートたいゆり」の活動～」
講師～太平百合が原地区社会福祉協議会 事務局長 鈴木 誠 氏

ク 生活応援ボランティア講座の開催

○ 北区生活応援ボランティア養成講座

支援を必要としている高齢者の生活上の困りごとを地域住民が身近に取り組めるボランティア活動として、その活動者を養成することを目的に実施。

開催日 《全3回》平成30年11月12日（月）14日（水）19日（月）
参加者18名

内 容 1日目 講義① 「介護保険制度改正 これからどうなる？私たちの暮らし～今求められる地域助け合いボランティア～」
講師 札幌市北区社会福祉協議会 事務局職員
講義② 「地域で暮らす高齢者に必要な“ちょっとしたお手伝い・困りごと”～地域ニーズの実際について」
講師 札幌市北区第2地域包括支援センター
センター長 長谷川 博子 氏

- 講義③ 「誰もが安心して暮らせるまちを目指して私達ができる」と
 講師 札幌市北区社会福祉協議会 事務局職員
- 2日目 演習 「高齢者の特徴とコミュニケーションの取り方」
 講師 北ヘルパーセンター 所長 生田 節子 氏
- 講義 「高齢者の心とからだ」
 講師 札幌市北区第1地域包括支援センター
 副センター長・保健師 藤川 洋子 氏
- 3日目 講義① 「身近に取り組むことができる生活応援ボランティア活動」
 講師 北区生活寄り添いボランティア活動者
- 演習 「助け合いゲームを体験」
 講師 札幌市北区社会福祉協議会 事務局職員

○地区生活応援ボランティア養成講座の開催

高齢者等が生活支援ボランティアとして社会参加する機会を生み出すため、ボランティア講座を開催し、生活支援ニーズに対応するボランティアグループの組織化支援をした。

〔実施内容〕

- ・生活支援活動が求められる背景の説明
- ・生活支援体制整備事業の説明
- ・助け合いを実感する「助け合いゲーム」の実施

■篠路地区（第2地域包括支援センターエリア）

◇篠路チョボラ会有志

開催日 6月15日、29日

参加者 7名

※上記内容に加え、北区生活寄り添いボランティア活動者からの実践報告等実施

ケ 住民ワークショップの開催（主担当：2層）

自分たちの地域や生活の困りごと等について、地域住民が考えるワークショップを地域包括エリアごとに開催し、「地域共生社会」の意識を高め、ニーズ把握から担い手の発掘・育成、新たな地域資源の開発等へつなげた。

○太平百合が原地区（第2地域包括支援センターエリア）

◇パーク♡サロン実行委員会

開催日 9月1日（土）

参加者 8名

- 内 容 ・「地域共生社会に向けた生活支援活動について」の説明
- ・広報誌の紹介、助け合いゲームをとおしての意識構築、
- 町内会における困り事や困っている人についての情報交換

○拓北・あいの里地区（第2地域包括支援センターエリア）

◇特養 白ゆりあいの里施設見学会

開催日：10月5日（金）

参加者：あいの里中央町内会住民 10名

主 催：特養白ゆりあいの里、 協力：第2層生活支援コーディネーター、
第2地域包括支援センター、介護予防センター茨戸

内 容：・「誰もが住み慣れた地域で最後までいきいきと心豊かに暮らせる
社会に向けて」（SC）

・「地域包括支援センターってどんなところ？」（包括）

・北区はつらつ簡単体操（予防センター）

コ 情報誌の作成

本事業に関する取り組み・情報等を掲載した情報誌を各地域包括支援センター圏
域で作成し、地域組織や関係機関に配布した（月に1回、3回発行）。

サ ホームページの作成

生活支援コーディネーターの取り組み等を本会のホームページに随時掲載し、市
民、特に若い世代や働く世代に向けても、住民主体による支え合い活動への意識を
高めた（毎月2回以上更新）。

(2) 低所得世帯等福祉活動の推進

① 生活福祉資金の貸付相談、取り次ぎ（実施主体:北海道社会福祉協議会）

資金種別	相談件数	貸付件数	貸付金額
総合支援資金 (住宅入居費、一時生活再建費)	16件 (9)	0件 (0)	0円 (0)
臨時特例つなぎ資金	1件 (0)	0件 (0)	0円 (0)
教育支援資金 (教育支援費、修学支度費)	804件 (156)	14件 (10)	20,189,000円 (15,409,860)
福祉資金 ・福祉費 ・緊急小口資金	275件 (94) 223件 (104)	4件 (5) 7件 (6)	4,948,000円 (2,754,090) 870,000円 (459,000)
不動産担保型生活資金 (要保護世帯向け)	13件 (6)	0件 (1)	0円 (95,494)
合計	1,332件 (369)	25件 (22)	26,007,000円 (18,718,444)

※ () 内の数字は、昨年度の件数及び金額

② 応急援護資金の貸付相談、取り次ぎ（実施主体:札幌市社会福祉協議会）

〔相談件数〕 326件 (210)

〔貸付件数〕 2件 (0)

〔貸付金額〕 156,000円 (0円)

※ () 内の数字は、昨年度の件数及び金額

③ 特別生活資金の貸付相談、取り次ぎ（実施主体:北海道社会福祉協議会）

〔相談件数〕 12件 (6)

〔貸付件数〕 1件 (0)

〔貸付金額〕 50,000円 (0)

※ () 内の数字は、昨年度の件数及び金額

※10月からの実施

(3) 障がい(児)者福祉活動の推進

① 福祉除雪事業の実施[再掲]

② 日常生活自立支援事業の実施[再掲]

③ 札幌市自立支援協議会北区地域部会への参加

月1回の会議に参加。

④ 障がい関係施設、団体との連携

ボランティア受入調整や、地域活動に対する活動助言を適時行った。

3 福祉情報の提供及び相談・援助・啓発活動の推進

(1) 福祉情報提供の促進

① 北区社協だよりの発行

第86号、第87号、第88号発行

② 札幌市社会福祉協議会ホームページの充実（再掲）

③ ボランティア活動プログラム表の発行（再掲）

④ ボランティア活動情報の整備及び提供（再掲）

⑤ 北区ボランティア情報の提供（再掲）

(2) 相談・援助活動の推進

① ボランティア相談・援助（再掲）

② 各種資金貸付相談・援助（再掲）

③ その他福祉に関する相談・援助（再掲）

(3) 福祉啓発活動の推進

① 見守り・訪問活動キャラクター「まもりん」を活用した啓発活動

〔活動〕 着ぐるみ活動6回（見守りパトロール、街頭募金、地区イベント等）

4 各種福祉団体・施設等の活動に対する支援

(1) 民生委員児童委員協議会活動の推進（事務局運営）

① 北区民生委員児童委員協議会・代議員会の開催

毎月1回開催

② 民生委員児童委員研修会の開催（年1回・全体研修）

平成30年11月5日(月) 参加者200名

○子育てコーチング教室～講師：株式会社アムリプラザ 庄野 二郎 氏

③ 各地区民生委員児童委員研修会の開催（各1回・新規）

内 容 講 話 「生活福祉資金・生活支援体制整備事業について」

講 師 北区社会福祉協議会 事務局次長 滝谷 貴光

貸付担当 本間 恵三子

地区担当生活支援コーディネーター

◇麻生地区

開催日 平成30年6月21日(木) 参加者32人

◇新川地区

開催日 平成30年6月26日(火) 参加者33人

◇屯田地区

開催日 平成30年6月27日(水) 参加者48人

◇北地区

開催日 平成30年8月21日(火) 参加者51人

◇新琴似地区

開催日 平成30年11月26日(月) 参加者58人

④ 主任児童委員研修会及び委員会の開催（研修会、施設見学会など年4回）

◇第1回部会

開催日 平成30年4月13日(金) 参加者26名

内 容 情報交換「各地区からの現状報告～主任児童委員の地区民児協との
関わり、定例会の実施の仕方、各部の有無、主任児童委員の環境など～」

◇第2回部会

開催日 平成30年7月13日(金) 参加者30名

内 容 講 話 「里親制度について」

講師 社会福祉法人扶桑苑 児童養護施設柏葉荘
センター長・里親支援SW 亀 勇一 氏

◇第3回部会

開催日 平成30年9月3日(月) 参加者28名

内容 施設見学・児童福祉に関する講義

見学先～札幌市児童相談所

◇第4回部会

開催日 平成30年11月16日(金) 参加者 50名

内容 グループワーク

テーマ/「主任児童委員の活動を考える～民生委員・児童委員による子ども・子育て
家庭への個別支援事例集から～」

※全国民生委員児童委員連合会が作成した事例集の中から事例を抽出
し、参加者によるグループワークでその事例の対応を考えます。

アドバイザー/北区保健福祉部職員(家庭児童相談員、家庭児童相談担当係長)

⑤ 全国・札幌市民生委員互助共催事業等の取扱い

適時、連絡調整事務を実施。

⑥ 北区民生委員児童委員活動PRパネル展の実施

平成30年5月14日(月)～5月17日(水) 札幌サンプラザ1階ホール

(2) 共同募金運動の推進(事務局運営)

① 北区共同募金委員会・理事会の開催

開催日 平成30年7月31日(火) 参加者40名

② 赤い羽根共同募金運動の推進

区内各地で啓発活動として、地域関係者と共にイベント募金を行った。

- ・平成30年7月22日(日)～太平百合が原夏祭り
- ・平成30年7月25日(水)・26日(木)～ノースロード24フェスタ
- ・平成30年7月28日(土)～幌北ふるさと夏祭り
- ・平成30年7月29日(日)～あいの里あいあいまつり
- ・平成30年8月 4日(土)・5日(日)～あさぶ夏まつり
- ・平成30年8月 4日(土)～新琴似中央夏祭り
- ・平成30年8月 5日(日)～新川中央地区夏まつり納涼盆踊り大会
- ・平成30年10月 5日(金)～更生保護女性会チャリティ芸能の集い
- ・平成30年11月28日(水)～幌北ふれあい交流会

③ 街頭募金の実施

実施期間

開催日 平成30年10月1日(月)～5日(金)

奉仕者数 延べ56団体・523人(60団体・541人)

募金実績 628,861円(610,321円)

④ 戸別・法人募金の実施

実施期間 平成30年10月1日(月)～12月31日(月)

目標額 18,700,000円(18,710,000円)

募金実績 8,498,776円(9,523,711円)

達成率 44.4%(50.9%)

(3) 社会福祉施設・各種福祉関係団体との連携強化

①札幌北訪問看護ステーション運営委員会への参加

活動実績なし。

②北区社協連携会議への参加

毎月1回開催

③北区地域包括支援センター・介護予防センター連絡会議等への参加・協力

各地区にて毎月1回～不定期に開催

④北区保健福祉部・地域包括支援センター・介護予防センターとの連携

ア 北区連絡会議

北区各地域包括支援センター、北区各介護予防センター、北区保健福祉課保健支援係、北区社会福祉協議会の職員が出席し、業務連携等について話し合う会議へ毎月1回出席。

イ 北区地域ケア推進会議

【北区地域ケア推進会議の参加と開催日】

第1回北区地域ケア推進会議：平成30年11月27日(火)

第2回北区地域ケア推進会議：平成31年3月4日(水)

ウ 地区地域ケア会議

担当職員による、各地区における会議の開催支援など

【地区地域ケア会議の参加と開催支援及び開催日】

- ①幌北地区：平成30年11月26日（月）
- ②北地区：平成30年11月27日（火）
- ③新琴似西地区：平成30年10月31日（水）
- ④鉄西地区：平成30年12月6日（木）
- ⑤新川地区：平成31年3月14日（木）
- ⑥拓北・あいの里地区：平成30年8月26日
- ⑦篠路地区：平成30年10月16日（火）
- ⑧太平百合が原地区：平成30年10月1日（日）
- ⑨麻生地区：平成31年3月27日（水）

(4) 札幌市要配慮者避難支援活動への支援・協力

活動実績なし。

(5) 北区要保護児童対策地域協議会への協力

活動実績なし。

(6) 北警察署犯罪被害者支援ネットワークへの協力

活動実績なし。

(7) 北区子育て支援推進ネットワーク講演会への参加・協力

会議の開催なし。

(8) 各団体に対する事業助成（北区母子寡婦福祉連合会等）

① 福祉関係団体への事業費助成（6団体）

・公益社団法人札幌聴覚障害者協会北区支部	10,000 円
・公益社団法人札幌市子ども会育成連合会北区支部	20,000 円
・札幌市北区ボランティア連絡会	100,000 円
・札幌市北区健康をまもるつどい	10,000 円
・札幌市北区母子寡婦福祉連合会	20,000 円
・札幌市北区老人クラブ連合会	20,000 円

5 会務の運営

(1) 自主財源の確保

① 愛情銀行、社会福祉基金の寄付受理、管理運営

- ・ 寄附件数 12件[金銭寄附11件、物品寄附1件]
(6件[金銭寄附5件、物品寄附1件])
- ・ 寄附金額 414,975円(409,000円)
※指定寄付含む
- ※ () 内の数字は、昨年度の件数及び金額

② 寄付の呼びかけ、受理、社会福祉基金の管理・造成【強化】

社協だよりへの記事掲載や寄付金の呼びかけチラシなどを作成

(2) 正会員・賛助会員への加入促進

①【正会員】

- ・ 第1種（公私社会福祉事業施設）

55団体 162,000円(287,000円)

- ・ 第2種（民生委員・児童委員、保護司）

462人 231,000円 (35,000円)

- ・ 第3種（地区社協、町内会）

22団体 44,000円 (44,000円)

- ・ 第5種（社会福祉、ボランティア等関係団体）

49団体 98,000円 (16,000円)

※ () 内の数字は、昨年度の金額

②【賛助会員】

- ・ 個人 45名 138,000円 (56名、146,000円)

- ・ 団体 143団体 476,000円(167団体、540,000円)

※ () 内の数字は、昨年度の件数及び金額

(3) 理事会及び評議員会の開催

- ・ 第1回理事会～平成30年5月31日（木）
- ・ 第1回評議員会～平成30年6月20日（水）
- ・ 第2回理事会～平成30年6月20日（水）
*会議終了後、懇親会を開催
- ・ 第3回理事会～平成31年3月15日（金）
- ・ 第2回評議員会～平成31年3月26日（火）

(4) 評議員選任・解任委員会の開催

- ・ 第1回評議員選任・解任委員会～平成30年6月4日（月）

(5) 正副会長会議の開催

- ・ 第1回正副会長会議～平成30年5月23日（水）
- ・ 第2回正副会長会議～平成31年3月11日（月）

(6) 監事会の開催

- ・ 第1回監事監査～平成30年5月21日（月）
- ・ 第2回監事監査～平成30年12月25日（火）
- ・ 第3回監事監査～平成31年2月22日（金）

(7) 総合企画委員会の開催

平成31年2月27日（水）

(8) 実習生の受入

北海道医療大学の学生1名を受け入れスーパーバイザーによる実習指導を実施

- ・ 受入期間 9月10日～10月12日